



設置したS401-PSC

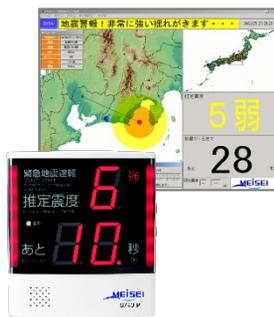
東海大学医学部付属八王子病院に制御用地震計を設置

東海大学医学部付属八王子病院内に、制御用地震計(S401-PSC)を3台設置させていただきました。

病院の免震棟、非免震棟のそれぞれに機器を設置して揺れの違いも含めて震度を計測し、管理者へ即時に地震情報を伝える仕組みを構築しました。

明星電気は、地震や振動観測のノウハウを活用して皆さまの安全・安心につながる地震防災システムのご提案を引き続き行っていきます。

(担当: 気象防災事業部)



QCAST受信ユニット(手前)と受信装置表示画面

豊洲キュービックガーデンでQCAST稼働

緊急地震速報受信システムを3月に豊洲キュービックガーデンに納入しました。

QCAST受信装置とQCAST受信ユニットがビル内に設置され、館内放送やエレベーター運行などに活用されます。地震発生時に館内放送を流し、エレベーターを最寄りの階へ自動で停止させ、ドアを開けることなどが可能になります。

地震の際に発生し得る事故として、エレベーターの閉じ込め事故などが挙げられますが、QCASTシリーズがいち早く地震の発生を報知することで、お客さまの防災・減災のお手伝いをしています。

明星電気のQCASTシリーズが、地震発生時の安全な行動に役立っています。

(担当: 気象防災事業部)



POTEKA

日本風工学会誌にPOTEKA観測データ掲載

日本風工学会誌46巻2号にPOTEKAの観測データが取り上げられました。日本風工学会の風災害研究会が、風災害2020年次報告としてまとめた災害事例の観測データとして紹介されています。風災害研究会には当社社員も委員として参加しています。

2020年の新型コロナウイルス感染拡大により、屋外での災害調査活動が十分に実施できない状況の中で、強風・突風発生時に残された日本各地のPOTEKA観測データは、例年以上に役立つデータとなりました。年次報告で大きな災害事例として取り上げられた9件の中で、当社がPOTEKA観測結果を示した事例が5件含まれています。

明星電気は、これからも強風・突風災害に対する防災・減災のために、POTEKA観測データを有効活用していきます。

※風災害2020年次報告は、今後、J-STAGE(科学技術情報発信・流通総合システム)に公開される予定です。

(担当: 気象防災事業部)

【文中: 敬称略】

Sensing & Communication

私たちは、独自の Sensing & Communication 技術により、革新的な商品・サービスを創造し、安全・安心な社会の発展に貢献していきます。